

## 令和5年度 事業計画（案）

	実施予定事業	会議等	備考
令和5年 4月			
5月		第33回海津市地域公共交通会議	
6月			フィーダー系統 補助金申請
7月	にしみのライナーリレーバス看板設置	第34回海津市地域公共交通会議	
8月			市報周知
9月			利用ガイド配布 市報折込（全戸配布）
10月	名古屋圏アクセスバス実証実験開始 デマンド交通土曜日運行実証実験開始 ダイヤ改正	(専門部会)	
11月	中間評価・事業評価	(海津市地域公共交通会議)	
12月			
令和6年 1月		海津市地域公共交通会議	自己評価
2月			第三者評価委員会
3月	計画改定		

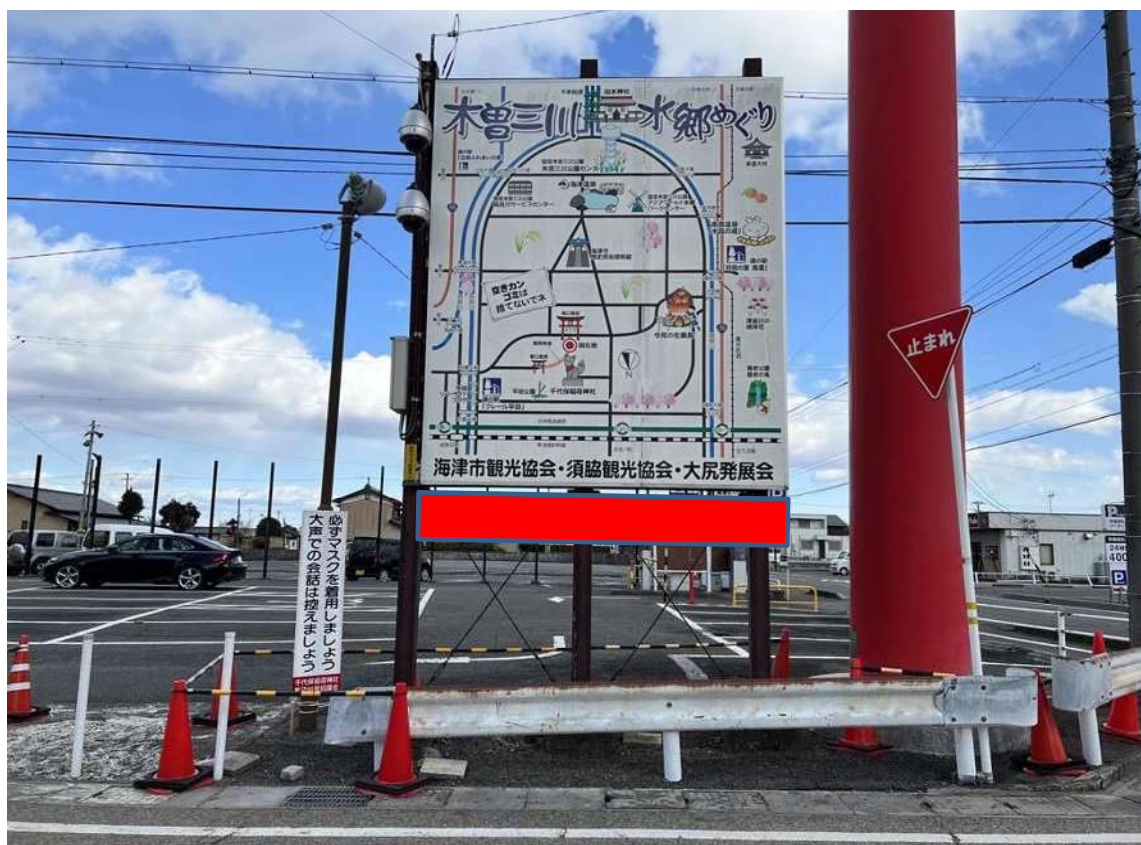
令和5年度は「名古屋圏アクセスバス実証実験」「デマンド交通土曜日運行実証実験」を実施予定。  
「第2次海津市地域公共交通網形成計画」の中間評価を行うとともに、計画の改定を行う予定。

●にしみのライナーリレーバス 看板設置

デザイン(案) W3000×H1000



設置場所



## ●海津市地域公共交通網形成計画中間評価・計画改定等委託業務

### 1 業務の目的

令和5年度は、第2次海津市地域公共交通網形成計画の中間見直しを行う年であり、本業務は、令和2年度から計画に基づき実施してきた事業の評価を行い、今後、令和8年度までの事業の見直しと社会情勢及び地域事情の変化に応じた目標数値の見直しを行う。

また、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（活性化再生法）の改正に伴い、令和7年度事業年度以降、補助制度を活用する場合は、地域公共交通計画の作成が必須となることから、中間見直しに併せ、現「第2次海津市地域公共交通網形成計画」を「海津市地域公共交通計画」に改定することを業務の目的とする。

また、上記業務に加え、コミュニティバスの利便性を向上させるため、名古屋圏アクセスバス（仮称：海津津島線）、にしみのライナーリレーバスの運行状況を加味したダイヤの改定を行うとともに、デマンド交通停留所の増設に伴うデータ整備を行う。

### 2 業務の内容

#### (1) 中間評価

- ・第2次海津市地域公共交通網形成計画の目標を達成するために掲げた事業について令和5年度事業年度（令和5年10月）までに実施した事業について評価を行い、評価内容を踏まえ令和8年度まで事業及び実施スケジュールの見直しを行う。
- ・中間評価、社会情勢及び地域事情、令和4年度までの確保維持改善事業二次評価を踏まえ、令和7年度末（令和8年3月末）の数値目標の設定を行う。

#### (2) 計画改定

- ・地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（活性化再生法）の改正に伴い、必要事項について改定を行う。
- ・計画策定以降、新設された路線について計画に反映させる。

#### (3) 定時定路線ダイヤ改正

- ・にしみのライナーリレーバス、名古屋圏アクセスバス（仮称：海津津島線）の運行ダイヤを踏まえ、コミュニティバスの利便性が向上するダイヤを検討する。
- ・路線図のデータ作成を行う。

#### (4) デマンド交通データ整備

- ・デマンド交通停留所増設分について、既存の停留所位置図に追加する。
- ・バス利用ガイドのデマンド交通停留所マップのデータ、各地区（10地区）の停留所位置図のデータ作成。

令和5年度 海津市地域公共交通会議 当初予算書（案）

歳入予算額：3,301千円

歳出予算額：3,301千円

1. 歳入

（単位：千円）

款	項	目	本年度	説明	
1	負担金	1 負担金	3,300	海津市負担金	3,300
2	補助金	1 補助金	0		0
3	繰越金	1 繰越金	0		0
4	諸収入	1 諸収入	1	預金利子	1
歳入合計			3,301		

2. 歳出

（単位：千円）

款	項	目	本年度	説明	
1	運営費	1 会議費	174	委員報償	164
				費用弁償	10
	2 事務費	1 事務費	40	消耗品、郵便料等	40
2	事業費	1 事業費	3,086	にしみのライナーリレーバス看板等	236
				会議運営支援委託業務 中間評価・計画改定等委託業務	2,850
3	予備費	1 予備費	1	予備費	1
歳出合計			3,301		